

第1部「コロナ禍の活動」

【質問】

リモートワークの拡大について、地域に若者や現役世代が戻っているとの説明でしたが、地域にどのように取り込んでいけばよいでしょうか。

＜回答＞

募集要項などをまとめ、チラシやポスターなどで広報する。まずは会員の中で募集してみる。会員の家族(学生なども含めて)声をかけてみる。学生であれば、地域の学校に働きかけてみるなど、まずはそうした人を求めていることを発信し、知ってもらうことです。

そのためにはどういう人を求めている、何にどういう参加や協力をして欲しいか、その際の条件があれば、具体的に示す必要があります。

【質問】

共助組織となるには、まず互いに顔の見える関係を作りたいと思います。お茶飲みの機会があるとよいと思いますが、実際に運用する人がいません。どうしたらよいですか。

＜回答＞

運用とはお茶飲みの機会？を作る人のことでしょうか。またはコミュニティカフェのことを指しておられるのでしょうか。まずはこうした場を創ろうと提案してみるところから始めてみると良いのではないのでしょうか。ただ、単にお茶を飲もうといっても進まないでしょうし、みんなが興味あるテーマで集まるサークルを立ち上げて、定期的集まるようにしてみてもは。また、その際に告知(広報)して広く知らせる必要があります。仲間づくりは一人から、この指とまれで共感する人が増えていく。街歩きなどから始めてみるのも一つです。

第2部「今だから、できることがある」

【意見】

ちょっとした困り事を助け合う活動は大切だと思いますが、自治会の会員自体が高齢化しており、自分のことで精一杯です。

<回答>

助け合い活動の多くは高齢者が主体となった活動でもあります。自分のことで精一杯な時もあるし、そういう人もおられると思いますが、そうでない人も地域にはたくさんおられると思います。共助組織にならなくても互いに声掛けあい、気にかけて、ちょっとした手助けをしてくれる人、頼りになる人を創っていくことができるといいと思います。でもそのためには自分から声をかけたり、働きかけていかななくてはならないのかなと感じます。

他人を変えることは難しいですが、自分を変えることはできます。先日お会いした方がとにかく地域の方とお会いしたら自分から挨拶するようにしている。無視されても続けていると次第に声を返してくれる人もいる。一歩ずつ、少しずつでも人とのつながりを創っていく人もいます。

【質問】

住民にとってメリットのある自治会に改革することは賛成ですが、そのためには色々なアイデアと実行力が必要です。1年交代輪番制の役員体制ですので、改革は難しいと思いますが、いかがですか。

<回答>

サポーター(顧問)制度を創って、1年の会長でも改革や新たな事業に踏み出している会もたくさんあります。3か年計画で見守りの仕組みを作り、1年目の会長はこれをするなど、組織として動いていくこと、引き継ぎ書やマニュアルを整備するなどしてできることはあるのではないのでしょうか。「難しい」と最初から感じてしまう、できない理由があるとやらないフォアキャスティングではなく、ありがたい未来から今やるべきことを考えるバックキャスティングという考え方にマインドを変えていくことが必要ではないのでしょうか。一歩も動かないうちからできない理由を上げるより、まず一歩動いてみると景色が変わってくると思います。

3. 第3部「不可避となった活動の IT 化」

【質問】

広報の強化について、パソコンが苦手な高齢化が進んだ自治会においては、どのように対応していけば良いですか。

<回答>

広報の作成がパソコンである必要はありません。手書きでも魅力的な広報は作れると思います。むしろ、パソコンで作ったものが多い中、手書きが目を引くということもあります。地区の小中高の生徒さんにポスターやチラシ、マップ作りなどをお願いしている地域もあります。

【意見】

スマートフォンは購入費や毎月の料金が高額で、年金暮らしの者にとっては負担が大きいです。

<回答>

格安スマホなどもありますが、誰もが持てるわけでもないと思います。スマホがなくても近くにサポートしてくれる人ができると良いですね。ご近所さんの見守り活動など、地域で支え合う仕組みを考えてみてください。

4. その他

【質問】

コロナ対策で、会合を開く際に注意喚起となるペーパーを作成されたお薦めの事例はありますか？

<回答>

ペーパーまで作っているところは分かりませんが、基準を設けているところはあります。厚生労働省の三密対策のガイドブックなどを活用されてはどうでしょうか。

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1

質問や意見以外では・・・

- ・現在の自治会の問題点がよく整理されており、わかりやすかった。参考にできる点も多々見受けられた。
- ・スマホの操作を使いこなせるように努力したい。
- ・LINEで役員に連絡したい。

等の感想もいただきました。